

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月11日

上場会社名 株式会社 トラスト 上場取引所 東
 コード番号 3347 URL <https://www.trust-ltd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川村 賢司
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 野木森 直樹 TEL 052-219-9058
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	17,954	46.4	1,507	91.7	1,809	142.0	1,032	324.7
2022年3月期第2四半期	12,268	42.6	786	905.1	747	—	243	—

（注）包括利益 2023年3月期第2四半期 1,536百万円（213.2%） 2022年3月期第2四半期 490百万円（—%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	39.91	—
2022年3月期第2四半期	9.40	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	35,852	12,965	23.8
2022年3月期	33,612	11,629	22.7

（参考）自己資本 2023年3月期第2四半期 8,530百万円 2022年3月期 7,632百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	2.00	—	4.00	6.00
2023年3月期	—	4.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	2.00	6.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,900	22.7	2,600	40.0	2,800	46.2	1,500	81.4	57.97

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料P. 9「四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期2Q	28,150,000株	2022年3月期	28,150,000株
2023年3月期2Q	2,273,100株	2022年3月期	2,273,100株
2023年3月期2Q	25,876,900株	2022年3月期2Q	25,876,900株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が未だ残るものの、行動制限の緩和や政府による施策により社会経済活動の回復に向けた動きがみられました。

しかしながら、長期化する地政学的リスクから原油価格高騰、世界的な半導体不足による電子部品の供給停滞、更には歴史的な円安が続く為替相場等、市場を取り巻く環境は、依然として予測の立てづらい不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、中核事業として海外市場をターゲットとしている中古車輸出事業、国内で安定的な成長を続けるレンタカー事業、さらに南アフリカ共和国において海外自動車ディーラー事業の3つの事業を行っており、安定した収益力のある事業体の構築を目指しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高17,954百万円(前年同期比46.4%増)、営業利益1,507百万円(前年同期比91.7%増)、経常利益1,809百万円(前年同期比142.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,032百万円(前年同期比324.7%増)となりました。

① 中古車輸出事業

中古車輸出業界においては、主要仕向け地である東アフリカ地域、カリブ地域だけでなく、各国の新型コロナウイルス感染症の対策が緩和され、マレーシアをはじめとする規制の緩和に慎重であった国々においても感染者数が減少し景気回復のための動きが見られる等、各国の状況は回復に向かっております。国内オークションにおいては、中古車人気により相場の高止まり状況が継続しており、仕入コストの上昇につながっております。輸出の為の船舶スペースの確保も逼迫した状況が依然続いており、当第2四半期連結累計期間における業界全体の輸出台数は61.6万台(前年同期比5.3%減)となりました。

このような状況のなか、当社はアジア地域におけるB to B取引先への販路拡大、また国内におけるグループ会社等からの委託掲載による販売サイト在庫の充実化や在庫車輛を保管するスペースの拡充等施策を図っております。個人顧客が主たる販売先であるアフリカ地域等が減少し当社グループの輸出台数は2,813台(前年同期比1.9%減)となりました。一方、当期は為替が円安に進行したことに加え、近年業販に注力してきたバングラデシュ向け等の一台当たり販売単価の高い車両の取扱いが伸長したことにより売上は増加いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高6,398百万円(前年同期比74.2%増)、営業利益328百万円(前年同期比546.2%増)となりました。

② レンタカー事業

レンタカー業界においては、車輛の所有から利用への流れのなか、近年はレンタカー需要の高まりを受け事業者数及び登録台数ともに年々増加し、市場規模が拡大するとともに競争も激化しております。今般の新型コロナウイルス感染症の影響も前年同期の状況から比べると改善してきており、特に9月には全国旅行支援の政策が発表されたことで、さらなる需要の高まりが期待されております。

このような状況のなか、当社グループは、当期においてF C店の高崎店(群馬県)を新規出店し、直営店及びF C店の総店舗数は185店、総保有台数は22,820台(前年同期比18.6%増)(※うち、Jネットブランドのみの店舗数は126店、保有台数は15,829台(前年同期比16.5%増))となり、売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高7,648百万円(前年同期比21.0%増)、営業利益1,076百万円(前年同期比55.5%増)となりました。

③ 海外自動車ディーラー事業

南アフリカ共和国においては、第1四半期に続いて、新型コロナウイルス感染症に伴うロックダウン解除以降、経済は回復傾向にあります。失業率は30%を超える状態が続いているものの、自動車需要は高まっており2022年1-9月期の新車販売台数は39.2万台(前年同期比13.3%増)となりました。

このような状況のなか、当社グループは、南アフリカ共和国でスズキディーラー4店舗を運営しており、新車販売台数は合計1,539台(前年同期比61.2%増)、中古車販売台数は合計640台(前年同期比20.1%増)となり、新型コロナウイルス感染症の影響のあった前年同期と比べ、販売台数及び利益ともに業績は大幅に伸びており、新店舗の出店準備も進めております。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高4,094百万円(前年同期比71.0%増)、営業利益115百万円(前年同期比141.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6.0%増加し、17,560百万円となりました。これは売掛金が746百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて7.3%増加し、18,291百万円となりました。これは有形固定資産が1,292百万円増加したことなどによります。

その結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて6.7%増加し、35,852百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて8.1%増加し、18,806百万円となりました。これは短期借入金が1,090百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて11.0%減少し、4,080百万円となりました。これはリース債務が516百万円減少したことなどによります。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて11.5%増加し、12,965百万円となりました。

④ キャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ743百万円減少し、675百万円となりました。なお、当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果獲得した資金は2,721百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益2,126百万円、減価償却費2,499百万円、棚卸資産の増減額510百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は2,335百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出2,609百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果使用した資金は1,129百万円となりました。これは主にリース債務の返済による支出2,016百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

中古車輸出事業につきましては、WEBサイトを中心としたB to C販売の拡充、継続的なB to B販売先の新規開拓、部品販売の強化に加え、弊社グループ会社からの仕入ルート拡充等により売上の拡大に努めてまいります。レンタカー事業につきましては、さらに既存出店エリア及び空白エリアへの新規出店を推進し、より利便性の高い店舗網を構築するとともにお客様並びに店舗スタッフの新型コロナウイルス感染症予防対策の実施により安全・安心なサービスの提供をしてまいります。海外自動車ディーラー事業につきましては、新店舗の出店を計画することで、更なる売上拡大及び利益向上を図ってまいります。

なお、2022年11月4日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。今後何らかの変化がある場合は適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,418,511	675,385
受取手形	41,815	63,120
売掛金	3,779,104	4,525,656
リース債権及びリース投資資産	7,415,826	8,217,622
商品及び製品	3,217,384	3,174,751
仕掛品	954	448
原材料及び貯蔵品	32,213	36,923
その他	859,372	1,064,463
貸倒引当金	△195,739	△197,532
流動資産合計	16,569,445	17,560,839
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	3,561,138	4,753,989
リース資産（純額）	6,981,632	6,515,121
土地	3,500,983	3,967,729
その他（純額）	1,919,927	2,018,871
有形固定資産合計	15,963,682	17,255,712
無形固定資産		
のれん	52,630	48,993
その他	72,881	77,804
無形固定資産合計	125,512	126,797
投資その他の資産		
その他	1,036,698	983,789
貸倒引当金	△83,002	△74,885
投資その他の資産合計	953,696	908,903
固定資産合計	17,042,890	18,291,414
資産合計	33,612,335	35,852,253
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	573,409	602,505
短期借入金	4,750,000	5,840,000
1年内返済予定の長期借入金	2,519	—
リース債務	9,677,557	10,174,065
未払法人税等	588,314	475,590
契約負債	487,708	453,440
賞与引当金	139,341	142,995
その他	1,179,288	1,117,792
流動負債合計	17,398,139	18,806,390
固定負債		
リース債務	4,408,633	3,891,701
役員退職慰労引当金	11,685	12,252
資産除去債務	75,922	76,114
その他	88,111	100,113
固定負債合計	4,584,352	4,080,180
負債合計	21,982,492	22,886,571

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,349,000	1,349,000
資本剰余金	1,174,800	1,174,800
利益剰余金	5,709,255	6,638,491
自己株式	△618,209	△618,209
株主資本合計	7,614,846	8,544,082
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,500	6,304
為替換算調整勘定	2,421	△20,257
その他の包括利益累計額合計	17,922	△13,952
非支配株主持分	3,997,074	4,435,552
純資産合計	11,629,843	12,965,681
負債純資産合計	33,612,335	35,852,253

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	12,268,093	17,954,704
売上原価	9,156,206	13,804,366
売上総利益	3,111,886	4,150,337
販売費及び一般管理費	2,325,641	2,642,999
営業利益	786,245	1,507,338
営業外収益		
受取利息	4,501	8,125
受取配当金	3,512	3,531
為替差益	10,189	348,059
助成金収入	23	—
その他	6,036	10,951
営業外収益合計	24,262	370,667
営業外費用		
支払利息	59,140	67,408
その他	3,684	1,407
営業外費用合計	62,825	68,816
経常利益	747,682	1,809,189
特別利益		
投資有価証券売却益	—	299,119
保険解約返戻金	—	17,867
特別利益合計	—	316,986
特別損失		
固定資産除却損	376	120
特別損失合計	376	120
税金等調整前四半期純利益	747,305	2,126,056
法人税、住民税及び事業税	271,150	543,680
法人税等調整額	△19,054	14,484
法人税等合計	252,095	558,165
四半期純利益	495,209	1,567,891
非支配株主に帰属する四半期純利益	252,026	535,148
親会社株主に帰属する四半期純利益	243,183	1,032,742

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	495,209	1,567,891
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,260	△9,212
為替換算調整勘定	△3,482	△22,678
その他の包括利益合計	△4,743	△31,891
四半期包括利益	490,466	1,536,000
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	238,394	1,000,868
非支配株主に係る四半期包括利益	252,071	535,131

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	747,305	2,126,056
減価償却費	2,266,718	2,499,111
のれん償却額	3,098	3,122
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	241	△6,268
賞与引当金の増減額 (△は減少)	7,509	3,653
受取利息及び受取配当金	△8,014	△11,656
支払利息	59,140	67,408
為替差損益 (△は益)	61	△5,971
固定資産除却損	376	120
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△299,119
売上債権の増減額 (△は増加)	△482,398	△766,353
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△102,707	510,448
仕入債務の増減額 (△は減少)	16,441	44,131
未払消費税等の増減額 (△は減少)	59,869	180,795
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△395,484	△974,465
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△23,964	28,860
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	△1,318	19,588
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	7,721	10,873
その他	4,763	4,489
小計	2,159,360	3,434,822
利息及び配当金の受取額	7,817	11,475
利息の支払額	△58,823	△67,716
法人税等の支払額	11,346	△657,028
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,119,701	2,721,553
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△904,941	△2,609,702
無形固定資産の取得による支出	△17,476	△20,261
投資有価証券の売却による収入	—	333,119
貸付金の回収による収入	13,278	648
敷金及び保証金の差入による支出	△17,718	△47,987
敷金及び保証金の回収による収入	1,835	11,878
その他	△4,408	△3,219
投資活動によるキャッシュ・フロー	△929,431	△2,335,524
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,100,000	1,090,000
長期借入金の返済による支出	△4,998	△2,519
配当金の支払額	△51,789	△103,400
非支配株主への配当金の支払額	△48,327	△96,654
リース債務の返済による支出	△1,852,053	△2,016,700
財務活動によるキャッシュ・フロー	△857,168	△1,129,274
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,447	120
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	330,654	△743,126
現金及び現金同等物の期首残高	718,268	1,418,511
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,048,922	675,385

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これにより四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	中古車輸出 事業	レンタカー 事業	海外自動車 ディーラー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	3,651,852	6,222,191	2,394,049	12,268,093	—	12,268,093
セグメント間の 内部売上高又は振替高	21,618	98,810	—	120,428	△120,428	—
計	3,673,470	6,321,001	2,394,049	12,388,521	△120,428	12,268,093
セグメント利益	50,768	692,031	47,676	790,477	△4,232	786,245

(注) 1 セグメント利益の調整額△4,232千円には、のれん償却額△3,098千円、棚卸資産の調整額△1,145千円、その他12千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	中古車輸出 事業	レンタカー 事業	海外自動車 ディーラー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	6,376,624	7,483,427	4,094,652	17,954,704	—	17,954,704
セグメント間の 内部売上高又は振替高	21,427	164,885	—	186,312	△186,312	—
計	6,398,051	7,648,312	4,094,652	18,141,017	△186,312	17,954,704
セグメント利益	328,069	1,076,018	115,177	1,519,265	△11,926	1,507,338

(注) 1 セグメント利益の調整額△11,926千円には、のれん償却額△3,122千円、棚卸資産の調整額△8,804千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。